

# ヘンダーソンビル 留学日記



桂高校3年 池田ゆかり

姉妹都市、ヘンダーソンビル市へ派遣した長期留学生2名のうち、先月号で板倉景子さんを紹介しましたので、今月はもう一人の留学生、池田ゆかりさんの感想を紹介します。

地の管理員の方が次の飛行機を予約してくれ、親切にもお昼まで食べさせてくれました。そこで初めてアメリカサイズのホットドッグを目にしたのですが、それは三十センチ以上もあり、いきなりアメリカのスケールの大きさを感ぜてしまいました。そして、無事次の

八月二日、私と板倉さんは家族と友達に見送られながら日本を離れ、十五時間の飛行機の旅を経てアメリカのテネシー州ヘンダーソンビル市に行ってきました。途中入国審査で一時間待ってしまつたので、アトラクタでの乗り換えの飛行機に乗り遅れてしまうというハプニングが起こり、初めからあわただしいスタートとなつてしまいました。しかし、現

地の管理員の方が次の飛行機を予約してくれ、親切にもお昼まで食べさせてくれました。そこで初めてアメリカサイズのホットドッグを目にしたのですが、それは三十センチ以上もあり、いきなりアメリカのスケールの大きさを感ぜてしまいました。そして、無事次の

飛行機に乗り一時間も遅れてしまいました。目的地テネシー州に到着しました。飛行機を出るとすぐに、ホストファミリーとスースティン先生が私たちを出迎えてくれました。私のホストマザーは日本人に英語を教えている人なので、私のごちない英語も理解してくれ、話すときもゆっくりと聞き取りやすく話してくれたので多くの面で助けられました。約二週間後には学校が始まり、初めのうちは英語を聞き取ることが一杯でしたが、日本人が珍しいというところもあり、このクラスでもたくさんの人が話しかけてきてくれ、初めはただひたすら笑顔でイエスカノーまたは、簡単な単語で答えるだけでしたが、日が経つにつれ少しずつ会話になつていき、たくさんの友達ができました。

私の滞在中には三つの大きな行事がありました。サンクスギビングという日に、二日ぐらい前からその日用の食事を作り始め、私の家ではケーキだけでも三種類も用意し、そのほかに七面鳥をはじめ多くの料理が大きなテーブルに敷き詰められました。十月三十一日のハロウィーンは、私の家で大きなパーティーを開き、三十人以上の友人がそれぞれいろいろなコスチュームで参加し、とても盛り上がりしました。私の留学も終わ

飛行機に乗り一時間も遅れてしまいました。目的地テネシー州に到着しました。飛行機を出るとすぐに、ホストファミリーとスースティン先生が私たちを出迎えてくれました。私のホストマザーは日本人に英語を教えている人なので、私のごちない英語も理解してくれ、話すときもゆっくりと聞き取りやすく話してくれたので多くの面で助けられました。約二週間後には学校が始まり、初めのうちは英語を聞き取ることが一杯でしたが、日本人が珍しいというところもあり、このクラスでもたくさんの人が話しかけてきてくれ、初めはただひたすら笑顔でイエスカノーまたは、簡単な単語で答えるだけでしたが、日が経つにつれ少しずつ会話になつていき、たくさんの友達ができました。



ホストファミリーと記念撮影

初めは、一人でアメリカという遠く離れたところで日常生活を送ることに、とても不安を感じていましたが、ホームシックにかかることもなく楽しく過ごせたのは、私を本当の家族のようにやさしく接してくれたホストファミリーや、学校・教会などで出会ったすべての人々のお陰だと思えます。また、不安はありながらも私を留学させてくれ、いつも支えてくれた家族、どんな時も励ましてくれた親友、元氣に見送ってくれたクラスの友人、ハンド部の人達。そして、こんな一生に一度の貴重な機会を与えてくれた桂高校の先生方をはじめとする友好委員会のみなさん、本当にありがとうございます。心から感謝して私の留学報告とします。

キューア、フェイスイエステなどをして、お金をもらい、もらった額の半分はクラスに寄付するという感じでした。私もマニキュアやフェイスイエステをしたり、やつてもらったりしてとても楽しかったです。自分のとりたい科目を受けているので、みんな授業にとっても前向きで意欲的でした。教会には、毎週水曜日の夜と日曜日の朝に行きました。そこは私の考えていたような静かでした。お祈りをするといつた教会のイメージではなく、たくさんの歌を歌ったり牧師さんが場を盛り上げていたりしました。

## 長期留学を終えて